

声に出して、昔話や古典を読み、そのリズムを味わいましょう。

★「枕草子」を声に出して読みましょう。

春はあけぼの。

※（ ）の読み方で読みましょう。

やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、

紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

夏は夜。月のころはさらなり、

やみもなほ、蛍の多く飛びちがひたる。

また、ただ一つ二つなど、

ほのかにうち光りて行くもをかし。

雨など降るもをかし。

春は明け方。だんだん白くなっていく山ぎわの空が、少し明るくなって、紫がかかった雲が細くたなびいているのがよい。

夏は夜。月のころは言うまでもないが、月のないやみ夜でも、蛍がたくさん飛びかっているのはよい。ただ一匹き二匹きと、かすかに光りながら飛んでいくのもおもむきがある。雨などが降るのもよいものだ。

◎昔の人のもの見方や感じ方と、同じところはあるですか。

◎昔の人のもの見方や感じ方と、違つところはありますか。

◎昔の人のもの見方や感じ方の、いいところはありますか。

Three empty rectangular boxes for student responses to the comparison questions.

- ・言葉の響きを味わいながら音読したり、暗唱したりしましょう。
- ・季節の美しさを感じる心を想像しながら読みましょう。
- ・想像したことを友達や家の人と話し合つて考えを広げましょう。



「で」で「へ」へ返して「の」の十一ページを参考にして読んでください。